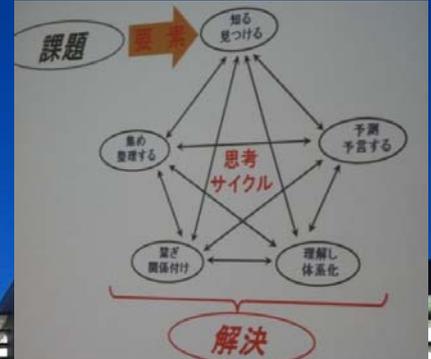


和田常任SAと新職員の懇親会

本校常任SAである和田 昭允先生から「YSFH職員の皆さんと話しをする機会を増やしたい」というご提案をいただき、YSFH新職員との懇親会が行われました。「知識と知恵のサイクル」をはじめ、本校の職員にとって重要な考え方をご説明いただき、それに対して職員が質問をする「職員版和田サロン」となりました。

当日の様子



参加した職員の感想

・本質的な理解とは暗黙知(持っている知識)を明確な形式知(暗黙知を文章化・定量化する事)で表現し、人に伝えられる事であるとご教示頂きました。生徒に多様性のある暗黙知と精度の高い形式知を伝えていきます。

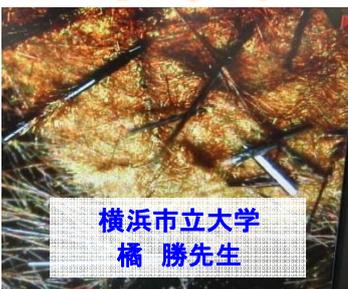
生物教員 松本 峻

・教育の重要性は肌身で感じていたが、それを理論的に考えたことが今までなかったため、和田先生のお話を聞くことができ新たな発見ができたと思う。教科書を教えるのではなく、教科書で何を教える(形式知とさせる)のかを考え、授業を計画していきたいと感じた。

英語教員 呉 桂一

Science Literacy I

『カーボンナノチューブとフラーレン②』



横浜市立大学
橋 勝先生

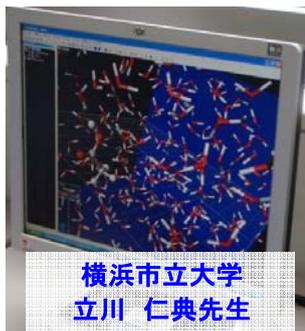
○生徒感想○

・リゾチーム結晶は結合がもろく、取り出すのに苦労しました。細かい作業を求められる実験は、とにかく慎重に正確性重視で行なわないといけないことが分かりました。

『情報のサイエンス』

○生徒感想○

・実現不可能とされている実験も、コンピュータでシミュレーション出来ることを知り驚きました。バーチャルな世界で現実を予測して深めていくのは面白いです。



横浜市立大学
立川 仁典先生

体育祭

6月21日(火)に体育祭が行われました。普段は勉強に忙しいYSFH生も、この日は大いに盛り上がりました。



○サイエンス体操○

毎年恒例となっている、サイエンス要素を取り入れた準備運動です。写真は「太陽の黒点観察」の様に上体反らしをしているところです。

○クラスTシャツ○

これも毎年恒例です。各クラスごとにTシャツを作成しています。写真は「割れている試験管」がデザインされています。



「君はなぜ大学へ行くのか」



慶應義塾大学 環境情報学部
富田 勝先生

○富田先生からのコメント○

みんな目を輝かせて聞いてくれましたので嬉しかったです。きっと研究が好きな生徒ばかりなのでしょう。試験勉強にあけくれる今の日本の教育システムでは、世界と勝負できる科学者は育ちません。高校時代に自由研究に打ち込み、その成果を持ってAO入試で大学受験する勇氣ある生徒が一人でも多くYSFHから出てくれることを願っています。世界に冠たる科学立国日本を復活させるのは君たちです。



スカイプによる
NASAに勤める先輩との交流



富田先生の研究室学生による
プレゼンテーション

○生徒感想○

・今回の講義をとおして、「自分のやりたいこと」を早く見つけなければいけないと思いました。経済破綻が目の前にある日本において、日本人は何をすべきか、世界でどのようにリードしていくのか、それが重要だと思いました。私はまだ「すべきこと」「したいこと」が見つからないので、せめて自分の可能性を狭めないよう、様々な勉強をしていきます。

横浜市立大学プレキャンパスツアー



○生徒感想○

・横浜市大の研究室の特色を理解することができ、自分も早く大学で研究してみたいと思いました。今回の見学で教えてくださった教授や大学院の先輩方を見て、「こうなりたい」「こういうことがしてみたい」という情熱がわいてきました。

全公立展への参加

6月4日(土)にパシフィコ横浜で開催された「全公立展」へ参加しました。これは、神奈川県内の公立高校が各ブースで学校説明をする行事で、今年は約3万人の方がご来場されました。本校は**生徒が中心**となってYSFHニュース春夏号、学校概要の配布や学校PRなどを行いました。現役YSFH生の話を聞けるということで、質問が絶えず、用意した資料8,000部も全て配布してしまいました。



朝8時のブース(準備前)

朝10時のブース(準備後)



YSFHブース前は常に混雑していました